

# 温水ルームヒーター 取扱説明書 保証書付

製品名	ガス会社品名
RH-5604RN-WH-BL	FH-5616AME-RT(WH)
RH-5604RN-PG-BL	FH-5616AME-RT(PG)
RH-3804RN-WH-BL	FH-3816AME-RT(WH)
RH-3804RN-PG-BL	FH-3816AME-RT(PG)



このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

\* この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。

\* 保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。



\* この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。

\* 本文中のイラストはRH-5604(FH-5616)シリーズです。


も く じ		ページ
ご使用の前に	安全上の注意(必ずお守りください) ..	2
	各部の名称とはたらき	
	本体外観図 .....	8
	操作部 .....	9
	表示部 .....	9
	リモコン .....	10
	使用前の準備	
	リモコンの取り扱いかた .....	11
	風向調節 .....	11
	空気清浄フィルタの取り付け .....	12
運転のしかた	お部屋を暖める	
	風量自動運転 .....	14
	風量手動運転 .....	16
	速暖運転 .....	17
	マイナスイオン運転 .....	18
上手に使うね	本体表示部の明るさの切換え .....	19
	おはよう(入タイマー)運転 .....	20
	おやすみ(切タイマー)運転 .....	21
	おはよう(入タイマー)運転、 おやすみ(切タイマー)運転の組み合わせ ..	22
	チャイルドロック .....	23
	日常の点検・手入れ	
	お手入れの前に .....	24
	お手入れのしかた	
	本体 .....	25
	リモコン .....	25
	エアフィルタ・空気清浄フィルタ ..	26
	マイナスイオン発生器 .....	27
	点検のおすすめ .....	27
	シーズン前の準備 .....	28
	乾電池の入れかた .....	29
現在時刻の設定 .....	30	
温水プラグ・電源プラグの接続 .....	31	
シーズン後のお手入れ .....	32	
故障かな?	故障かな?と思ったら .....	34
	部品交換について .....	35
	仕様 .....	36
	アフターサービス .....	37
保証書 .....	裏表紙	


# 安全上の注意(必ずお守りください)

- ご使用前に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき正しくお使いください。
- ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。  
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。




- 絵表示について次のような意味があります。

	一般的な禁止		分解禁止		必ず行う
	水濡れ禁止		一般的な警告・注意		電源プラグを抜く
	濡れ手禁止		高温注意		アースを接続する




 は参考になるページです。

## 警告 (WARNING)

### 据付け時


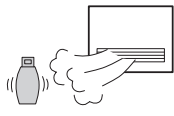
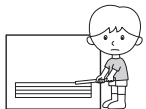
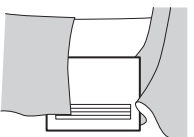
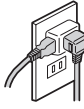
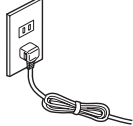




	●電源コードを切断して延長しない 電源コードの届く範囲にコンセントがないときは、電力会社の指定工事店に依頼し、所定の電気配線をしてください。 絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。	
	●電源はAC100Vを使用する(火災・故障の原因)	

### 使用時

	●長時間、温風を体にあてない 低温やけどを起こすおそれがありますので注意してください。 特に体力のない病気のかた・乳幼児・お年寄りが使用されるときは周囲のかたが充分注意してください。	
	●運転中や停止直後に温水プラグや温水チューブを抜かない 温水が漏れてやけどをしたり、家財などを汚すおそれがあります。	

## ⚠ 警告 (WARNING)




### 使用時

	<p>● <b>スプレー缶厳禁</b> スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに置いたり、使用したりしないでください。 熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因になります。</p>	
	<p>● <b>温風吹出口の奥に指や棒などを入れない(ケガの原因)</b> 内部でファンが高速回転しています。 特にお子さまに注意してください。</p>	
	<p>● <b>温風吹出口や吸込口をふさがない</b> 衣類やカーテンなどで温風吹出口や吸込口をふさがないでください。 障害物があると正常な運転ができません。</p>	
	<p>● <b>延長コードの使用、タコ足配線はしない(火災・発熱・感電の原因)</b> 延長コードを使用したり、他の電気器具とのタコ足配線をしたりしないでください。</p>	
	<p>● <b>電源コードは束ねたままで使用しない(火災・発熱・感電の原因)</b></p>	
	<p>● <b>電源コードは破損させない、加工しない</b> 重いものを載せたり、加熱したり、加工したり、引張ったりしないでください。傷んだまま使用すると火災や感電の原因になります。</p>	
	<p>● <b>電源コードを引張らない(火災や発熱の原因)</b> 電源プラグを抜くときはプラグを持って行ってください。</p>	
	<p>● <b>電源プラグを抜いて停止させない(火災や感電の原因)</b></p>	
	<p>● <b>電源プラグのお手入れをする</b> ときどきは電源プラグを抜き、ほこりを除去してください。 ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。</p>	
<p>● <b>電源プラグは確実に差し込む</b> 電源プラグを差し込む際は、電源プラグ側だけでなくコンセント側にもほこりの付着・つまり・がたつきがないことを確認し、刃の根元まで確実に差し込んでください。ほこりの付着・つまり・がたつきがあると火災や感電の原因になります。コンセントにがたつきがある場合は、販売店または、弊社窓口にご相談ください。</p>		




# 安全上の注意(必ずお守りください)

## ⚠ 警告 (WARNING)

### 使用時


-  ●やけどに注意  
温風吹出口や前パネルは熱くなっています。特にお子さまが直接手や肌を触れないように注意してください。
-  ●異常時使用禁止  
運転を停止して電源プラグを抜き、販売店または、弊社窓口にご相談ください。そのまま運転を続けると火災や感電の原因になります。

### 移設・修理時





-  ●分解・修理・改造をしない(火災・感電・漏電の原因)  
故障や破損したときは、使用しないでください。  
不完全な修理や改造は危険です。  
修理は販売店または、弊社窓口にご相談ください。
-  ●温水コンセントの設置・移設・再設置は販売店または、弊社窓口にご相談する  
ご自分で設置をされ不備があると火災・感電・温水漏れの原因になります。

## ⚠ 注意 (CAUTION)

### 据付け時

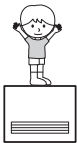

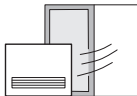
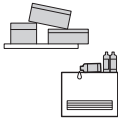
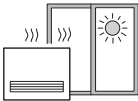
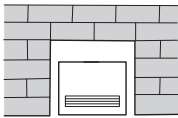
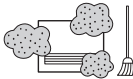

-  ●純正部品以外は使用しない(事故の原因)  
事故防止のため当社純正部品以外は使用しないでください。

### 使用時

-  ●温風吹出口のルーバーの角度をむりに変えない  
床やじゅうたんなどの変形・変色・ひび割れなどの原因になります。
- 温風吹出口の周囲にリモコンを置かない  
温風により故障の原因になります。
- 暖房以外の用途に使用しない(思わぬ事故の原因)  
食品・精密機器・美術品の保存や動植物の生育・衣類乾燥など特殊な用途には使用しないでください。
- 温風があたる場所に燃焼器具を置かない  
(燃焼器具の不完全燃焼や火災の原因)
- 傾けたり、横倒しの状態で保管しない  
温水が漏れて家財などを汚すおそれがあります。

# ⚠ 注意 (CAUTION)

## 使用時



- **プラスチック部分には火気を近づけない**  
火災の原因になることがあります。
- **温風吹出口の前に椅子やテーブルなどを置かない**  
温風の循環が妨げられ、効果的な暖房が行えません。
- **金属部に触らない(ケガの原因)**  
フィルタの脱着やお手入れのときは、熱交換器に触らないでください。
- **家具などに温風を直接あてない**  
木製品(テーブル・タンス・椅子など)、熱に弱いビニール、樹脂製品に直接温風をあてないでください。変形やそりなどの不具合が生じるおそれがあります。
- **信号線のコネクタを本体から抜かない**  
熱源機との通信ができなくなります。
- **本体の上に乗ったり、ものを載せたりしない**  
転倒してケガをしたり、本体の変形や事故の原因になります。
- **以下の場所では使用しない**
  - ・ **水平でない場所、不安定な場所**  
水平で丈夫な床の上で使用してください。
  - ・ **風が当たる場所、部屋の出入口、屋外**  
風があたって室温調節が正確に行われなかったり、また、人が出入りする際に本体が転倒し、故障の原因になります。
  - ・ **不安定なものを載せた棚などの下**  
ものが落ちると危険です。
  - ・ **直射日光のあたる場所**  
室温調節が正確に行われなかったり、また、変色や故障の原因になります。
  - ・ **ガソリンやシンナーなど引火しやすいものの周囲**  
火災になるおそれがあります。
  - ・ **囲われる場所**  
過熱のおそれや室温制御が正常に作動しなくなるおそれがあります。壁組込み設置はしないでください。
  - ・ **ほこりや湿気が多い場所**  
エアフィルタがつまりやすくなります。
  - ・ **テレビ・ラジオ・オーディオなどの近く**  
雑音や誤作動の原因になることがあります。






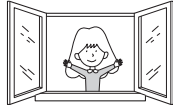

# 安全上の注意(必ずお守りください)

## ⚠ 注意 (CAUTION)

### 使用時

	<p>●水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器を載せたりしない 内部に水が入ると感電や故障の原因になります。</p>	
---	--	---

	<p>●濡れた手で本体のスイッチ、電源プラグを触らない(感電の原因)</p>	
---	--	---

	<p>●ときどき換気する(酸欠事故の原因) 燃焼器具などをいっしょに使用する場合は、こまめに換気してください。</p>	
	<p>●本体内部の掃除は販売店または、弊社窓口に相談する 市販されているエアコン用の内部洗浄剤は使用しないでください。プラスチック部分が破損したり、洗浄後の污水が流れ出ます。</p>	
	<p>●温風のある場所は熱に強いマットなどを敷いて使用する 床(フローリング材)の上で長時間使用すると変色したり、そり返ったり、ひび割れることがあります。</p>	
	<p>●リモコン用乾電池について以下のことを守る 破裂や液漏れなどにより、ケガ・やけどの原因になることがあります。もし液に触れたときは、水でよく洗い流してください。また、リモコンなどに液が付着した場合は、液に直接接触しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・極性表示⊕⊖を間違えて挿入しないでください。</li><li>・充電しないでください。</li><li>・乾電池に表示している「使用推奨期間」を過ぎて使用しないでください。</li><li>・使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしないでください。</li><li>・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。</li><li>・乾電池に直接ハンダ付けしないでください。</li><li>・ショート・分解・加熱・火の中に投入しないでください。</li><li>・乾電池を廃棄するときは、端子にテープなどを巻きつけて絶縁してください。他の金属や電池と混じると発熱・破裂・発火の原因になることがあります。</li></ul>	
	<p>●乾電池の取り扱いに注意する 幼児が誤って乾電池を飲み込まないように注意してください。 乾電池を飲み込んだ場合は、すぐにはき出させ、医師に相談してください。 健康を害する原因になります。 またリモコンを処分するときは乾電池を抜いてください。</p>	
	<p>●凍結に注意する 凍結予防のため冬期は電源プラグを抜かないでください。凍結破損の原因になります。</p>	

## ⚠ 注意 (CAUTION)

### 使用時

	<p>●長期間使用しないときは… ほこりがたまって火災や発熱の原因になりますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、リモコンから乾電池を取り出してください。入れたままにすると乾電池から液が漏れる場合があります。漏れた液が皮膚についたり、目や口に入った場合は、すぐに水で洗って流してください。なお、症状によっては、医師にご相談ください。</p>	
	<p>●本体やエアフィルタの掃除をするときは… (感電・ケガ・やけどの原因) 運転を停止し、30分以上待ち、本体と温水が冷めてから電源プラグを抜いて行ってください。</p>	

ご使用の前に

## お願い (NOTICE)

### 据付け時

	<p>●以下の場所には設置しない 排気口や換気扇などの蒸気・油煙・チリ・湿気・ほこりの排出される付近に設置しないでください。</p>	
	<p>●アースを接続する 近くにアース端子がある場合はアースを接続することをおすすめします。</p>	

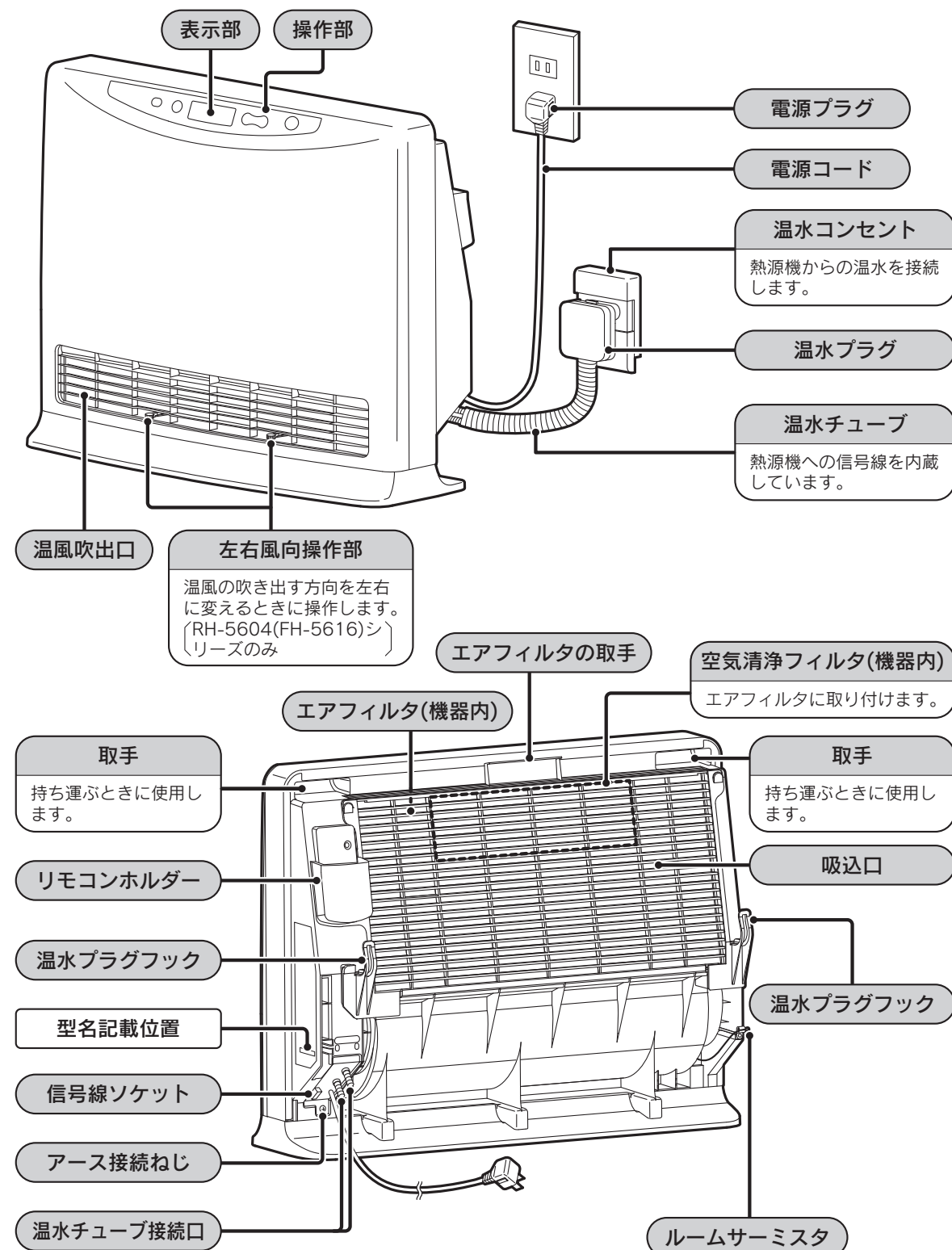
### 使用時

	<p>●落雷のおそれがあるときの処置(火災・感電・故障の原因) 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、運転を停止しすみやかに電源プラグを抜いてください。</p>	
	<p>●一般家庭用として使用する 業務用に使用すると、寿命が短くなる原因になります。</p> <p>●温水チューブをルームサーミスタに近づけない 温水チューブの中を流れる温水の影響を受けて、室温調節が正確に行われなことがあるかもしれません。</p> <p>●電気カーペットなどの上に置かない 電気カーペットなどの熱の影響を受けて、室温調節が正確に行われなことがあるかもしれません。</p>	



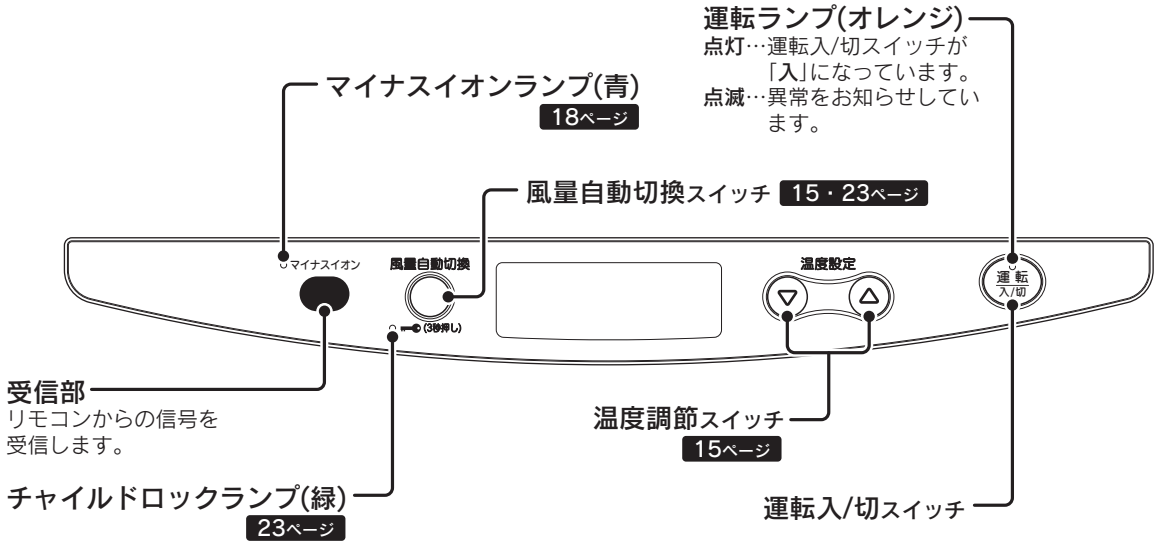
# 各部の名称とはたらき

## 本体外観図

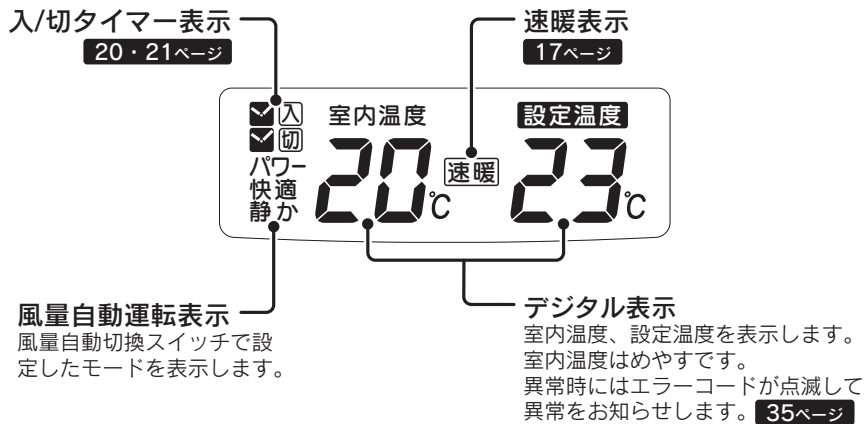




# 操作部



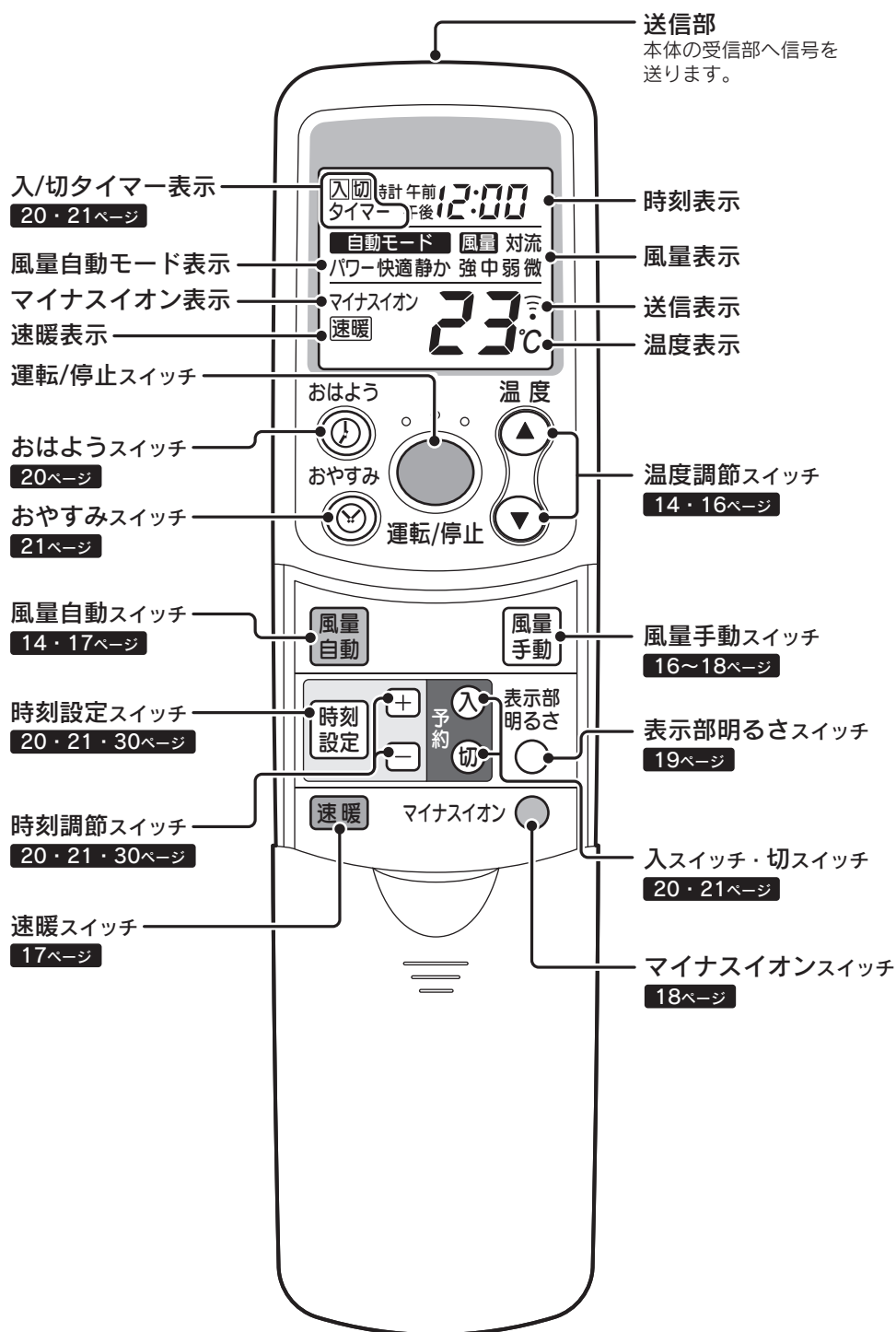
# 表示部



表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。

# 各部の名称とはたらき

## リモコン



ふたを開けた状態です。

表示部は説明のためのもので、実際とは異なります。

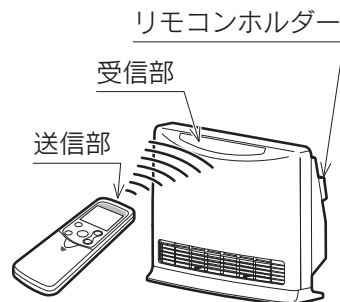
スイッチを押すと該当するものだけを表示し、その後すべての設定内容を表示します。

# 使用前の準備

「シーズン前の準備」(28～31ページ)に従って本体とリモコンを使用できる状態にしてください。

## リモコンの取り扱いかた

- 送信部を本体の受信部に向けて操作してください。  
(本体のリモコンホルダーに入れたまま、操作しないでください。受信できないことがあります。)
- 受信部との間に信号をさえぎるものがないようにしてください。
- 衝撃を与えたり、水をかけたりしないでください。  
また直射日光が当たる場所、ストーブなどの近くには置かないでください。
- 電子式点灯方式(ラピッドスタート方式)の蛍光灯やインバータ方式の蛍光灯、コードレス電話のある部屋では信号を受けつけない場合があります。その場合はリモコンを受信部に近づけて操作してください。
- 送信部に直射日光が当たっている場合は、本体が受信できないことがあります。

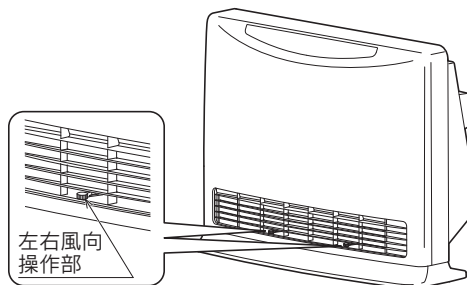


## 風向調節 [RH-5604(FH-5616)シリーズのみ]

### 警告

- 温風吹出口の奥に指や棒などを入れないでください。  
内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になるおそれがあります。  
特にお子さまに注意してください。

- 風向調節を行う場合は運転を停止し、左右風向操作部が冷えていることを確認して手で調節してください。



### お知らせ

- 長時間、温風を体にあてると低温やけどを起こすおそれがあります。  
特に体力のない病気のかた・乳幼児・お年寄りが使用されるときは周囲の方が充分注意してください。

# 使用前の準備

## 空気清浄フィルタの取り付け

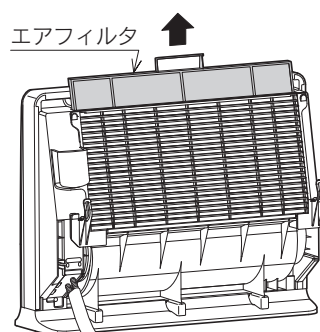
### ⚠ 注意

- エアフィルタの取りはずし、取り付けの際は金属部に触らないでください。ケガの原因になります。

- この本体には空気清浄フィルタが1枚付属しています。  
※RH-5604 (FH-5616) シリーズは空気清浄フィルタを2枚取り付けることができます。  
2枚取り付ける場合は別売の交換用フィルタ (RH-KSF1) をお買い求めください。

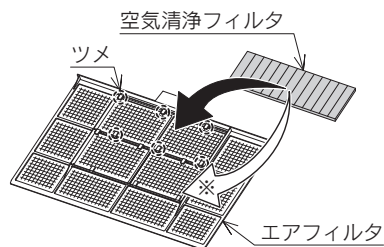
### 1 エアフィルタをはずす

エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。



### 2 空気清浄フィルタを取り付ける

エアフィルタ枠のツメとフィルタの間に空気清浄フィルタを差し込みます。



### 3 エアフィルタを取り付ける

空気清浄フィルタが本体の前面側になる向きで差し込みます。

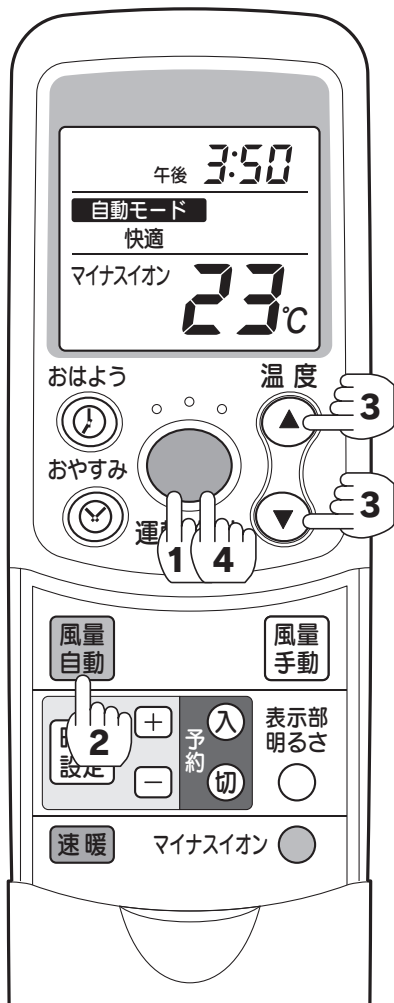
●このページは空白です。

# お部屋を暖める

## 風量自動運転

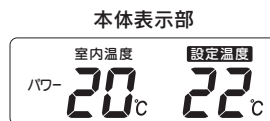
お部屋の広さに合わせて3種類の風量自動モードが選択できます。

### リモコンで操作する場合



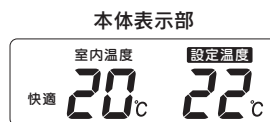
#### 1 運転/停止スイッチを押す

本体の運転ランプと表示部が点灯します。



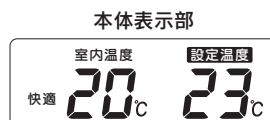
#### 2 風量自動で風量自動モードを設定する

押すごとに  
パワー→快適→静か  
↑  
の順番で切り替わります。



#### 3 ▲▼で温度調節をする

10~30°Cの範囲で調節できます。



## 停止

#### 4 運転/停止スイッチを押す

本体の運転ランプと表示部が消灯します。  
(次回からは運転/停止スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。)

### お知らせ

- 室温調節は風量を自動的に切換えて行います。  
最大風量は「パワー：強」、「快適：中」、「静か：弱」となります。
- 春先や秋口、また狭い部屋で使用した場合には、風量が「微」運転でも室温が設定温度よりこの場合は室温が設定温度より2°C上昇すると送風ファンは自動的に停止し、「対流」になります。
- 「対流」とは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れて対流させることです。
- 風量自動運転と風量手動運転は同時にはできません。
- 本体を運転中に温水温度が低くなった場合は、一時的に送風を停止することがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると「マイナスイオン」、「パワー」、「20°C」

## 本体で操作する場合



### 1 運転入/切スイッチを押す

運転ランプと表示部が点灯します。

### 2 風量自動切換で風量自動モードを設定する

押すごとに **パワー** → **快適** → **静か** の順番で切換わります。

### 3 温度調節をする

10～30℃の範囲で調節できます。

## 停止

### 4 運転入/切スイッチを押す

運転ランプと表示部が消灯します。

(次回からは運転入/切スイッチを押すだけで同じ設定で運転できます。)

高くなってしまふことがあります。  
ます。

風量自動モード	風量自動範囲
パワー	強・中・弱・微・対流
快適	中・弱・微・対流
静か	弱・微・対流

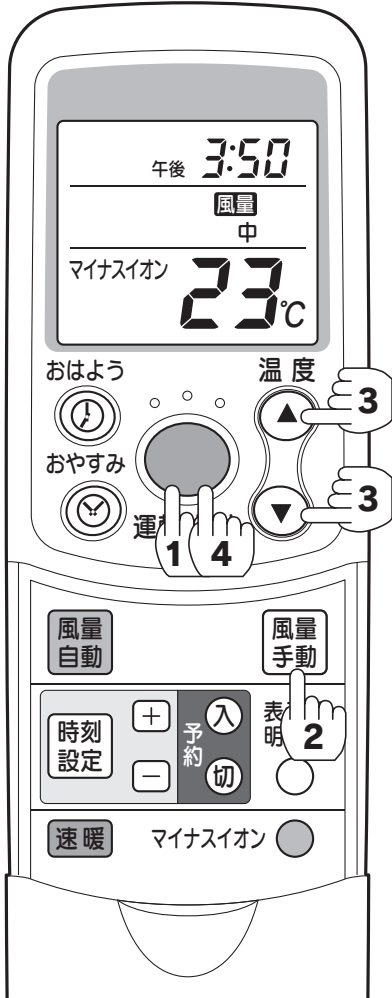
の設定になります。



# お部屋を暖める

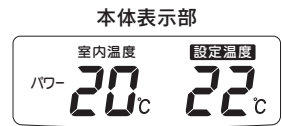
## 風量手動運転

お好みの風量で運転ができます。



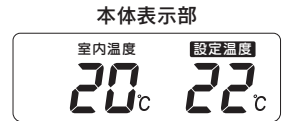
### 1 運転/停止スイッチを押す

本体の運転ランプと表示部が点灯します。



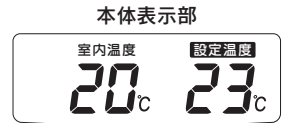
### 2 風量手動で風量を設定する

押すごとに  
強→中→弱→微→対流  
の順番で切り替わります。



### 3 ▲▼で温度調節をする

10～30°Cの範囲で調節できます。  
※風量を「対流」に設定した場合は設定温度が消灯し、温度調節ができません。



## 停止

### 4 運転/停止スイッチを押す

本体の運転ランプと表示部が消灯します。  
(次回からは運転/停止スイッチを押すだけで設定で運転できます。)

### お知らせ

- 「対流」とは送風を停止して温水を循環させ、自然な空気の流れで対流させることです。
- 室温が設定温度より2°C上昇すると送風ファンは自動的に停止し、「対流」になります。
- 室温は本体に表示しています。暖めすぎに注意してください。
- 「対流」に設定した場合はマイナスイオンは発生しません。
- 風量自動運転と風量手動運転は同時にはできません。
- 本体を運転中に温水温度が低くなった場合は、一時的に送風を停止することがあります。

# 速暖運転

暖房中にしばらく部屋を離れる場合、「速暖」を押して本体を停止させておくと、部屋に戻って運転を再開したときに温風の吹き出しが早くなります。

(「速暖」表示が点灯中は、温水を保温しながら本体に循環させています。)



## 1 暖房運転中に「速暖」を押す

本体が停止(温風の吹き出しが止まります。)して運転ランプと「速暖」表示が点灯します。

※運転停止中に「速暖」を押しても速暖運転は有効になります。

本体表示部

速暖

## 速暖の取り消し

### 「速暖」を押す

本体の運転ランプと「速暖」表示が消灯します。また、速暖運転を開始してから約1時間経過すると自動的に停止します。

## 暖房運転を再開する場合

### 2 運転/停止スイッチを押す

(風量自動スイッチまたは風量手動スイッチを)  
押しても暖房運転を再開します。

本体が運転を開始(温風が吹き出します。)して、「速暖」表示が消灯します。

## お知らせ

- この本体は熱源機で暖められた温水を循環させ、温風に変えて吹き出す間接暖房方式です。速暖運転を行っていない場合は運転開始から温水が一定温度になり、温風を吹き出し始めるまで数分かかります。(温風を吹き出し始める時間は使用条件や熱源機の種類により異なります。)
- 速暖運転のタイマー予約はできません。
- 運転停止中に速暖スイッチを押した場合、熱源機の温水温度が上昇するまでは運転/停止スイッチまたは風量自動スイッチまたは風量手動スイッチを押しても温風を吹き出しません。
- 速暖運転は運転開始から約1時間経過すると自動的に終了しますが、リモコンの「速暖」表示は消灯しませんので、消したい場合は速暖スイッチを押してください。

# マイナスイオン運転

マイナスイオンの発生を開始させたり、停止させたりするときに使用します。



## 運転している場合(運転中にマイナスイオン運転を同時に行う場合です。)

### 1 マイナスイオン ●を押す

本体のマイナスイオンランプが点灯します。

## 停止

### 3 マイナスイオン ●を押す(マイナスイオン運転のみを停止する場合)

本体のマイナスイオンランプが消灯します。

### 3 運転/停止スイッチを押す(運転も同時に停止する場合)

本体の運転ランプとマイナスイオンランプが消灯します。次回からは運転をすると同時にマイナスイオン運転を行います。

## 停止している場合(マイナスイオン運転を単独で行う場合です。)

### 1 マイナスイオン ●を押す

本体のマイナスイオンランプが点灯します。

### 2 風量 手動で風量を設定する

押すごとに →強→中→弱→微← の順番で切り替わります。

## 停止

### 3 マイナスイオン ●または 運転/停止スイッチを押す

本体の運転ランプとマイナスイオンランプが消灯します。

## お知らせ

- マイナスイオン運転は風量手動運転の「対流」、「速暖運転」と同時にはできません。
- 本体のマイナスイオンランプとリモコンのマイナスイオン表示は、風量自動運転中の「対流」、「おはよう(入タイマー)運転」の予約中にマイナスイオンの発生が中断している間も点灯します。

# 本体表示部の明るさの切換え

本体の表示部とランプの明るさを切換えることができます。



## 1 表示部明るさを押す



押すごとに4段階に切替わります。

運転のしかた

上手に使ってね

### お知らせ

- 本体表示部の明るさを変更すると、次回運転時も同じ明るさになります。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電すると明るさはお買い求め時の状態になります。

# おはよう(入タイマー)運転

おめざめ前やご帰宅などに合わせてご使用ください。

- タイマー時刻を設定する前に現在時刻が合っていることを確認してください。**30ページ**
- 現在時刻から24時間以内のタイマー予約ができます。
- タイマー時刻は一度設定すると、リモコンが記憶しています。次回からは $\text{\textcircled{1}}$ または $\text{\textcircled{入}}$ を押すだけで同じ時刻にタイマー運転を行います。



## おはよう(入タイマー)運転の特長

### 室温が7°C未満の場合

設定時刻の約30分前に運転を開始します。

### 室温が7°C以上の場合

設定時刻の約15分前に運転を開始します。

## 入タイマー時刻の設定 (午前7:00に設定する場合)

### 1 $\text{\textcircled{時刻設定}}$ を2回押す

### 2 $\text{\textcircled{+}}$ $\text{\textcircled{-}}$ でタイマー時刻を設定する

1回押すと10分、押し続けると早送りになります。



### 3 $\text{\textcircled{時刻設定}}$ を2回押す

入タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。

(10秒間操作しない場合も、時刻設定は完了し現在時刻を表示します。)



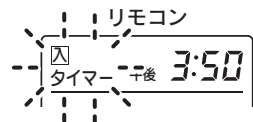
## 入タイマーの予約

### 4 $\text{\textcircled{1}}$ または $\text{\textcircled{入}}$ を押す

入タイマー時刻を1秒間表示した後、現在時刻と「 $\text{\textcircled{入}}$ タイマー」を表示し予約が完了します。

本体の $\text{\textcircled{入}}$ 表示が点灯し、待機状態になります。

※「対流」中に入タイマー予約をした場合は設定温度を表示しません。



## 入タイマー予約の取り消し

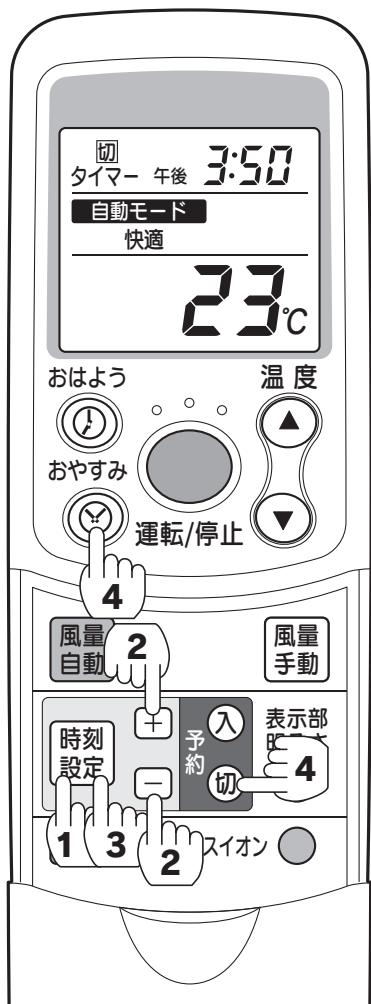
### $\text{\textcircled{1}}$ または $\text{\textcircled{入}}$ を押す

本体の $\text{\textcircled{入}}$ 表示が消灯し、運転を開始します。運転を停止する場合は、運転/停止スイッチを押してください。

# おやすみ(切タイマー)運転

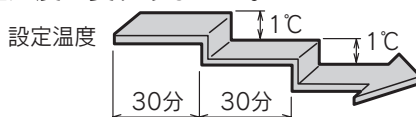
おやすみになるときなどにご使用ください。

- タイマー時刻を設定する前に現在時刻が合っていることを確認してください。**30ページ**
- 現在時刻から24時間以内のタイマー予約ができます。
- タイマー時刻は一度設定すると、リモコンが記憶しています。次回からは $\odot$ または $\textcircled{\text{切}}$ を押すだけで同じ時刻にタイマー運転を行います。



## おやすみ(切タイマー)運転の特長

運転開始後、約30分で設定温度が1℃下がり、更に約30分後1℃下がります。本体表示部とリモコンの設定温度は変わりません。



### 切タイマー時刻の設定 (午後10:00に設定する場合)

**1**  $\text{\textcircled{\text{時刻設定}}}$  を3回押す

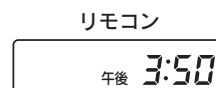
**2**  $\oplus$   $\ominus$  でタイマー時刻を設定する

1回押すと10分、押し続けると早送りになります。



**3**  $\text{\textcircled{\text{時刻設定}}}$  を1回押す

切タイマー時刻の設定が完了し、現在時刻を表示します。  
(10秒間操作しない場合も、時刻設定は完了し現在時刻を表示します。)



### 切タイマーの予約

**4**  $\odot$  または  $\textcircled{\text{切}}$  を押す

切タイマー時刻を1秒間表示した後、現在時刻と「 $\text{\textcircled{\text{切}}}$ タイマー」を表示し予約が完了します。本体の $\text{\textcircled{\text{切}}}$ 表示が点灯します。



### 切タイマー予約の取り消し

$\odot$  または  $\textcircled{\text{切}}$  を押す

本体の $\text{\textcircled{\text{切}}}$ 表示が消灯し、運転を継続します。運転を停止する場合は、運転/停止スイッチを押してください。





# チャイルドロック

チャイルドロックを設定することによって、お子さまなどのいたずらによる運転開始、温度調節を防止します。



## 1 風量自動切換 を約3秒間押す

チャイルドロックランプが点灯します。

## 解除

## 2 風量自動切換 を約3秒間押す

チャイルドロックランプが消灯します。

### お知らせ

- 運転中・停止中に関係なくチャイルドロックを設定することができます。
- 運転中にチャイルドロックを設定した場合は、本体の運転入/切スイッチまたはリモコンの運転/停止スイッチを押して運転を停止することしかできません。
- 停止中にチャイルドロックを設定すると、すべての操作ができません。チャイルドロックを解除してから操作してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電するとチャイルドロックは解除されます。
- 風量自動切換スイッチを押し続けると「設定・解除」を繰り返します。

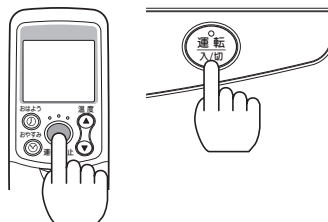
# 日常の点検・手入れ

## お手入れの前に

### 警告

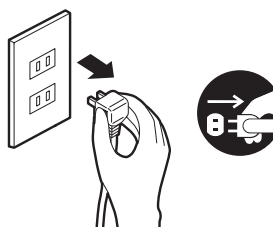
- 運転している場合は運転/停止スイッチを押して、運転を停止してください。停止しないと内部でファンが高速回転していますので、ケガの原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引張って抜くと、断線して火災や発熱の原因になります。

### 1 運転を停止する



### 2 電源プラグを抜く

運転を停止し、30分以上待ち、本体と温水が冷めてから電源プラグを抜いてください。



# お手入れのしかた

## ⚠ 注意

- 本体に直接水をかけて掃除をしないでください。感電や故障の原因になります。
- エアフィルタを取りはずしているときは、機器内の熱交換器に触らないでください。ケガの原因になります。
- エアフィルタは、水気を充分ふきとって陰干ししてください。  
水気が残ったまま取り付けると感電や故障の原因になります。
- 点検や手入れは、本体が冷めてから行ってください。
- 濡れた手で電源プラグを触らないでください。
- 部品の分解や調整は絶対にしないでください。
- 異常があるときは、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。
- 点検や手入れのときは手袋などの保護具を着用してください。

## お願い

次のものは使用しないでください

ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなど

塗装がはがれたり、傷の原因になることがあります。



40℃以上のお湯

変色・変形の原因になります。



## 適時に

### 本体

温風吹出口は掃除機でほこりを吸い取ってください。

本体は水や化学ぞうきんなどは使わず、やわらかい布でからぶきしてください。

汚れがひどい場合は、中性洗剤を入れたぬるま湯を布に含ませ、固くしぼってふいてください。

最後にやわらかい布で中性洗剤をよくふきとってください。変色・ひび割れの原因になります。

### リモコン

水や化学ぞうきんなどは使わず、やわらかい布でからぶきしてください。  
ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・ガラスクリーナーなどは使用しないでください。印刷や塗装のはがれ、傷の原因になります。



# 日常の点検・手入れ

1週間に1回以上

交換用フィルタ

空気清浄フィルタ  
型名：RH-KSF1

## エアフィルタ・空気清浄フィルタ

### 1 エアフィルタをはずす

エアフィルタの取手を持ち上げ、引き出します。

### 2 空気清浄フィルタをはずす

### 3 掃除する

#### ●エアフィルタ

使用期間中は1週間に1回以上、掃除機でエアフィルタのほこりを吸い取ってください。よごれがひどい場合は水洗いしてください。

※水洗いの後は日陰でよく乾かしてください。

#### ●空気清浄フィルタ

掃除機でほこりを吸い取ります。

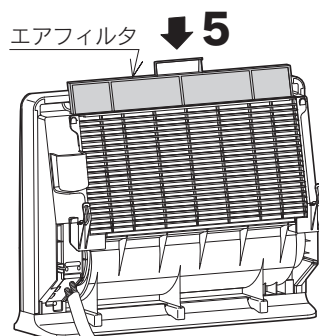
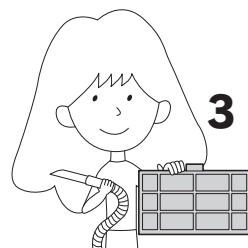
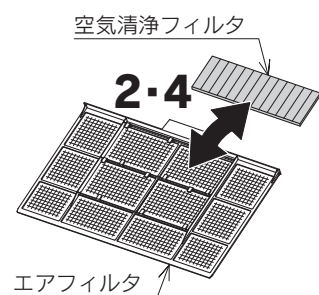
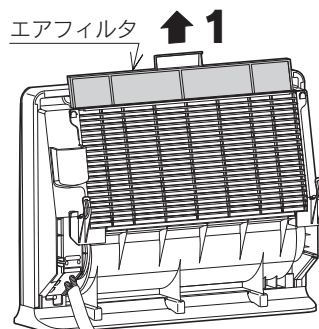
汚れがひどく臭いが取れない場合は交換してください。

### 4 空気清浄フィルタを取り付ける

### 5 エアフィルタを取り付ける

空気清浄フィルタが本体の前面側になる向きで差し込みます。

エアフィルタを取り付けずに運転すると、ほこりなどが内部に入り、汚れや故障の原因になります。



## お知らせ

- エアフィルタ・空気清浄フィルタが汚れたまま使用すると、空気清浄効果が得られなかったり、臭いが発生したり、暖房能力が落ちたりすることがあります。
- 空気清浄フィルタの有効期間は約3年ですが、使用状況により汚れ具合が異なりますので、ときどき点検してください。
- 空気清浄フィルタを廃棄する場合は、不燃物ゴミとしてお住まいの地域のゴミ収集規則に従って処分してください。
- 空気清浄フィルタの保管は高温多湿を避け、開封後はなるべく早く使用してください。開封したまま放置すると空気清浄効果が低下します。

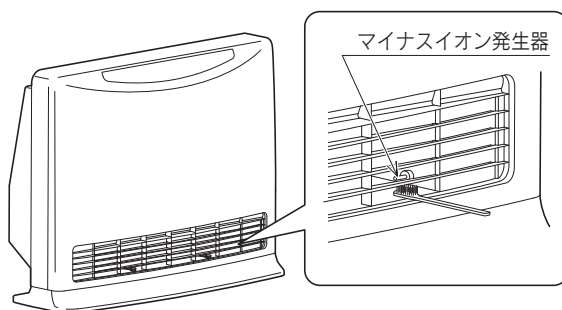
## 1ヶ月に1回以上

### 警告

- お手入れは運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。通電したままでマイナスイオン発生器を触ると感電のおそれがあります。

### マイナスイオン発生器

マイナスイオン発生器内部の金属針の先端を歯ブラシなどで3~4回軽くこすってください。綿棒などの毛羽立つものは使用しないでください。



### お知らせ

- ほこりがたまるとマイナスイオンの発生が減り、電磁音(ジー)が出ることがあります。
- シーズン始めには必ず掃除をしてください。

## 点検のおすすめ

- 数シーズンご使用になりますと、本体の内部が汚れ、能力低下の原因になることがあります。日常の手入れとは別に点検を受けることをおすすめします。詳しくは販売店または、弊社窓口にご相談ください。
- 本体の内部の洗浄はお客さまご自身で行わず、販売店または、弊社窓口にご相談ください。誤った洗浄剤の選定・使用方法で洗浄を行うと、内部樹脂部品が破損したり温水漏れすることがあります。また、電気部品やモータの発火・発煙・故障などの原因になります。

# シーズン前の準備

## 警告

●電源プラグのほこりを掃除して、がたつきのないように刃の根元まで確実に差し込んでください。

### 1 エアフィルタ・空気清浄フィルタを掃除する **26ページ**

※ご購入後はじめて使用する場合は、掃除の必要はありません。付属の空気清浄フィルタを取り付けてください。 **12ページ**

### 2 リモコンに乾電池を入れる **29ページ**

### 3 現在時刻を合わせる **30ページ**

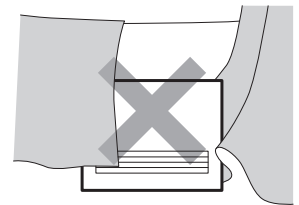
### 4 マイナスイオン発生器を掃除する **27ページ**

※ご購入後はじめて使用する場合は、掃除の必要はありません。

### 5 温水プラグ・電源プラグを接続する **31ページ**

### 6 吸込口や温風吹出口が障害物(壁やカーテンなど)でふさがれていないか確認する

ふさがれていると正常な運転ができず、故障の原因になります。



# 乾電池の入れかた

## 1 ふたをはずす

ふたを下にスライドさせ、止まったところで持ち上げるとはずれます。

## 2 乾電池を入れる

表示に従って⊕⊖を正しく入れてください。

## 3 ふたを取り付ける

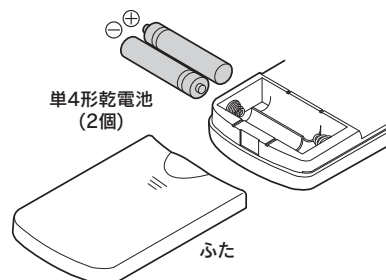
レールにそって差し込んでください。

## 4 表示部を確認する

運転/停止スイッチを押して表示が出ることを確認してください。

- 付属の乾電池はモニター用です。表示がうすくなったり、信号を受けつけなくなったりした場合は、乾電池を交換してください。
- 乾電池は2個とも同じ種類の新しいものを入れてください。
- 乾電池を交換した直後は「マイナスイオン」、「パワー」、「20℃」の設定になります。現在時刻とタイマー時刻は解除されますので、設定し直してください。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を取り出してください。

- 乾電池交換後、正常に作動しないときは乾電池をはずした状態で運転/停止スイッチを3、4回押し、再度入れてください。





# シーズン前の準備

## 現在時刻の設定

**1** 時刻設定 を1回押す

**2** **+** **-** で時刻を合わせる

1回押すと1分、押し続けると10分単位で変わります。  
現在時刻はスイッチを押すごとに確定され、時計がスタートします。

**3** 時刻設定 を3回押す

現在時刻が表示され、現在時刻の設定が完了します。  
(10秒間操作しない場合も、現在時刻の設定が完了) します。

### お知らせ

- 現在時刻を設定した後は、停止中でも現在時刻を表示します。
- 現在時刻を設定しないとおはよう(入タイマー)運転・おやすみ(切タイマー)運転はできません。
- 本体には現在時刻の表示はしません。

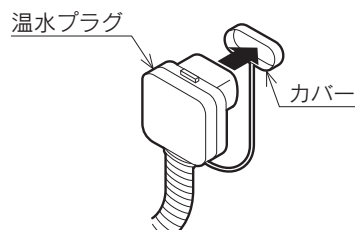
# 温水プラグ・電源プラグの接続

## ⚠ 注意

- 温水プラグはプラスチック、ゴムなどの材料を使用しています。絶対に蹴ったり、たたいたりしないでください。強い力などが加わると破損し温水漏れの原因になります。また、装着はまっすぐ確実に行ってください。

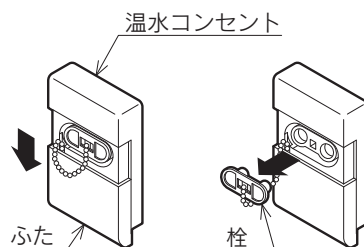
### 1 温水プラグのカバーをはずす

温水がプラグ部に付着している場合は、温水をふきとってください。

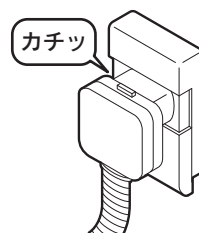


### 2 温水コンセントの栓をはずす

ふたを下げ、鎖を引張ってください。



### 3 温水プラグを温水コンセントにカチッと音がするまで差し込む

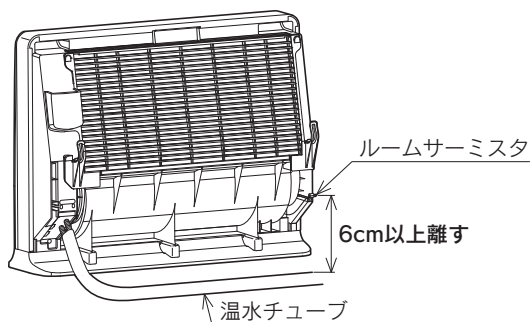


### 4 本体の電源プラグをコンセントに差し込む



## お知らせ

- 本体を壁際に設置する場合は、温水チューブがつぶれないように注意してください。
- 温水チューブを本体の背面に引き回す場合は、温水チューブとルームサーミスタを6cm以上離してください。温水チューブの熱で正確な室温の調節ができなくなります。
- ルームサーミスタが壁やカーテンなどにあたらないよう隙間を空けてください。



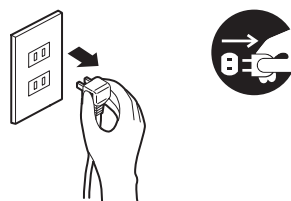
# シーズン後のお手入れ

## ⚠ 注意

- 熱源機と接続しているすべての本体の運転を停止し、約30分程度待つて、本体と温水が冷めてから行ってください。やけどの原因になります。

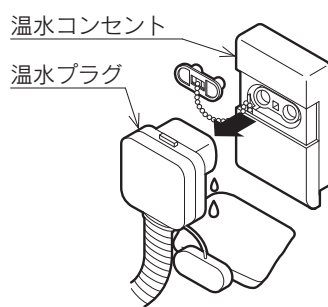
シーズン終了後や長期間使用しない場合は、次の要領に従って保管してください。

### 1 電源プラグを抜く



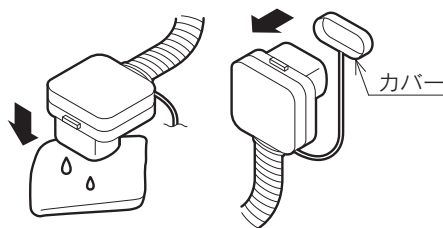
### 2 温水プラグを温水コンセントから抜く

温水プラグから少量の温水が落ちますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



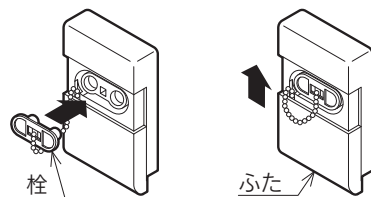
### 3 温水プラグにカバーをする

少量の温水がプラグ部に付着していますので、温水プラグをふいて、カバーを取り付けてください。



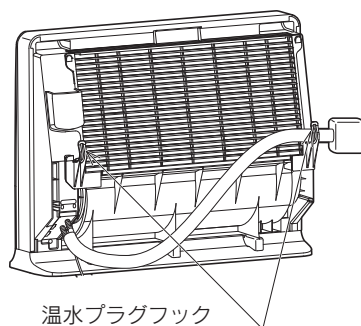
### 4 温水コンセントに栓をして、ふたを閉める

少量の温水がコンセント部に付着していますので、コンセント部をふいて栓を差し込み、ふたを閉めてください。



### 5 温水プラグのチューブを温水プラグフックに引掛ける

温水漏れによる故障を防ぎます。

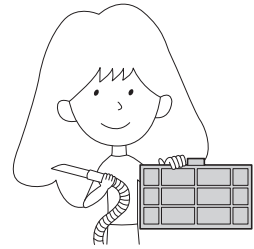


## 6 お手入れをする

エアフィルタやリモコンなどを掃除してください。

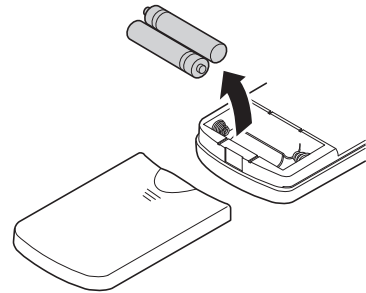
**25～27ページ**

エアフィルタを取りはずした場合は、元通りに取り付けてください。



## 7 リモコンの乾電池を取り出す

液漏れによる故障を防ぎます。



## 8 保管する

湿気の少ないところに保管してください。

本体は絶対に傾けたり、横倒しにしたりして保管しないでください。

温水が漏れて家財などを汚すおそれがあります。

## 消耗・劣化しやすい部品について

温水チューブは長期間使用していると固くなり本体からの抜け、水漏れの原因となります。固くなった場合には、販売店または弊社窓口へご相談ください。

※消耗部品代はお客様の負担になります。

# 故障かな？と思ったら

## サービス(修理)を依頼される前に

故障ではない場合がありますので、サービス(修理)を依頼する前にもう一度確認してください。それでも直らないときや原因がわからないときは販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

こんなときは	確認してください
運転しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●停電していませんか。</li> <li>●屋内ブレーカーが「OFF」になっていませんか。</li> <li>●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。電源プラグをコンセントに差し込んでください。</li> <li>●チャイルドロックが設定されていませんか。解除してください。 <b>23ページ</b></li> </ul>
ファンが回らず温風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●温水コンセントがはずれていませんか。</li> <li>●室温が設定温度より約2℃上昇して「対流」になっていませんか。設定温度が適切であることを確認してください。 <b>14ページ</b></li> <li>●リモコンで風量手動運転の「対流」に設定していませんか。 <b>16ページ</b></li> <li>●速暖運転に設定していませんか。 <b>17ページ</b></li> <li>●運転開始時、温水温度が低いとすぐに温風が出ません。温水温度が上がるまでしばらくお待ちください。</li> <li>●熱源機が故障していませんか。熱源機の取扱説明書に従って処置してください。</li> <li>●1台の熱源機に接続した複数の本体を同時に運転させると送風が停止することがありますので、部屋を早く暖める場合は本体を交互に運転させてください。</li> </ul>
ファンが回らず温風が出ない 室内温度の表示が実際と異なる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体に風や直射日光があたったり、温水チューブとルームサーミスタが近い位置にあたりると正確な室内温度が感知できません。置く場所の周囲には注意してください。また、温水チューブとルームサーミスタは6cm以上離してください。</li> </ul>
温風が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マイナスイオン運転を単独で行っていませんか。 <b>18ページ</b></li> </ul>
温風の出方が左右で違う	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エアフィルタが目詰まりしていませんか。エアフィルタを掃除してください。 <b>26ページ</b></li> </ul>
暖房能力が低下した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エアフィルタが目詰まりしていませんか。エアフィルタを掃除してください。 <b>26ページ</b></li> <li>●温水チューブがつぶれていませんか。つぶれないように注意してください。</li> </ul>
運転開始後や停止後に「ピシッ」「パキッ」という音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中に本体から音がすることがあります。これは温度変化により、樹脂部品がわずかに伸縮するため発生する音です。(故障ではありません。)</li> </ul>
運転中や運転モード切替時に「カチッ」「ウーン」「コトコト」という音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リレーの作動、熱動弁の開閉、ファンの速度変更時に発生する音です。(故障ではありません。)</li> </ul>
マイナスイオン運転中に「ジー」という音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●マイナスイオン発生器にほこりがたまるると異音が発生することがあります。マイナスイオン発生器のお手入れをしてください。 <b>27ページ</b></li> </ul>
水の流れる音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中や運転停止直後は本体内に温水が流れています。(故障ではありません。)</li> <li>●室温が低いときに凍結予防機能が働き、本体内に温水が流れる場合があります。</li> </ul>
リモコン操作を受けつけない リモコンの表示がうすい 送信時に表示がうすくなる リモコンの表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電子式点灯方式の蛍光灯、インバータ方式の蛍光灯、コードレス電話による受信障害が考えられます。リモコンを本体の受信部に近づけて操作してください。</li> <li>●乾電池が消耗していませんか。乾電池を交換してください。(単4形乾電池2個) <b>29ページ</b></li> <li>●乾電池交換後、正常に作動しないときは乾電池をはずした状態で運転/停止スイッチを3、4回押し、再度入れてください。</li> <li>●乾電池の⊕が逆になっていませんか。</li> <li>●他の機器に使用しているリモコンから同時に信号を発信しているときは、本体の受信部が他の機器のリモコンに反応して、本体のリモコン信号を受信できなくなることがあります。</li> <li>●リモコンをまとめて収納するラックなどに他のリモコンと一緒に入れたとき、つめすぎてスイッチが押されることがあります。</li> <li>●リモコンをまとめて収納するラックなどに立て掛けたとき、ラックの縁にあたり、リモコンのスイッチが押されていることがあります。</li> </ul>
本体の表示部やリモコンの表示の色が変化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の表示部やリモコンの表示を正面以外から見ると色が変わって見えることがあります。また表示がうすく見えたり、明るさにムラが生じる場合があります。(故障ではありません。)</li> </ul>

# エラーコード

- 本体の表示部にエラーコードを表示して、故障・異常をお知らせします。  
エラー表示を繰り返す場合は販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

エラーコード	説明	確認・処置
15	熱交サーミスタ高温検知	30分以上待ち、温水が冷めてからリセットしてください。
16	ルームサーミスタ高温検知	室温が低下してからリセットしてください。温水チューブとルームサーミスタが近い場合は、6cm以上離してください。
31	ルームサーミスタ異常	販売店または、弊社窓口にご連絡ください。
32	熱交サーミスタ異常	
62	ファンモータ異常	
70	操作部基板異常	
73	電源周波数異常 制御基板異常	

※リセット(警報解除)の方法…リモコンの運転/停止スイッチまたは本体の運転入/切スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にします。

## 運転中に誤作動したときは

- 万一運転中に雷や自動車無線などで誤作動したり、動かなくなったり、リモコン操作を受けつけなくなったりしたときは、電源プラグをコンセントから抜き3分以上待って再度差し込んだ後に、リモコンの運転/停止スイッチを押してください。

## 部品交換について

**部品交換が必要になったときは、販売店または、弊社窓口  
に依頼してください**

- 部品は必ず**当社純正部品**を使用してください。
- 故障したままで使用しないでください。
- 故障して修理が必要なときは、販売店または、弊社窓口にご依頼ください。

故障かな？

# 仕 様

製 品 名	RH-5604RN-WH-BL	RH-5604RN-PG-BL	RH-3804RN-WH-BL	RH-3804RN-PG-BL
ガ ス 会 社 品 名	FH-5616AME-RT(WH)	FH-5616AME-RT(PG)	FH-3816AME-RT(WH)	FH-3816AME-RT(PG)
パ ネ ル 色 調	シルキーホワイト	ピンクゴールド	シルキーホワイト	ピンクゴールド
定 格 暖 房 能 力	5.6kW(80℃ 2.5L/min)		3.8kW(80℃ 2.5L/min)	
応 用 暖 房 能 力	5.2kW(80℃ 2.0L/min)		3.5kW(80℃ 2.0L/min)	
損 失 水 頭	19.7kPa(2.5L/min) 13.0kPa(2.0L/min)		18.4kPa(2.5L/min) 11.9kPa(2.0L/min)	
最 高 使 用 圧 力	98.1kPa(1kgf/cm <sup>2</sup> )			
電 源 電 圧 及 び 周 波 数	AC100V 50/60Hz			
定 格 消 費 電 力 (50/60Hz)	38/43W		25/30W	
騒 音 (50/60Hz)	43/44dB(A)		42/42dB(A)	
外 径 寸 法	高さ 475mm 幅 605mm 奥行 200mm		高さ 475mm 幅 445mm 奥行 200mm	
質 量	9.5kg		7.5kg	
配 管 接 続	φ8mm用温水チューブ			
付 属 部 品	リモコン、単4形乾電池(2個)、空気清浄フィルタ、保護クッション(※1) E-Con接続コネクタ(※2)、コードクランプ(※2)、取扱説明書(保証書付) 工事説明書			

●本体の暖房能力は熱源機に温水配管3mで接続した実測値で、最大・最小とも室温20℃のときの値です。

●騒音値はJISの試験方法による当社無響室における測定値です。

実際の使用では室内での反響により仕様値より大きくなる場合があります。

※1 フローリングの床または畳で使用する場合に、本体底面に貼り付けます。

※2 FHシリーズのみに付属しています。

# アフターサービス

## サービスを依頼される時

34・35ページの「故障かな?と思ったら」「エラーコード」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

### ●連絡していただきたい内容

- ・製品名……………機器側面に貼り付けてある銘板をご覧ください。
- ・お買い上げ日…保証書をご覧ください。
- ・異常の状況……エラー表示など、できるだけ詳しく
- ・ご住所・ご氏名・電話番号
- ・訪問ご希望日

### ●修理料金のしくみ

修理料金は **技術料** + **部品代** + **出張料** などで構成されています。

製品のある場所に技術者を派遣するための料金です。

修理に使用した部品代金です。

診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・試運転などの作業にかかる料金です。

※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)

## 保証について

この取扱説明書には保証書がついています。

必ず販売店・お買い上げ日などが記入されていることを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10年です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。



メモ

メモ

# 無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

お客さま	ご芳名	様	製品名	【BL認定品】
	ご住所			RH-5604RN-WH-BL RH-5604RN-PG-BL RH-3804RN-WH-BL RH-3804RN-PG-BL
販売店	店名	扱 者 印	ガス会社品名	【BL認定品】
	住所			FH-5616AME-RT(WH) FH-5616AME-RT(PG) FH-3816AME-RT(WH) FH-3816AME-RT(PG)
	電話番号			
お買い上げ日	平成	年	月	日

## 〈保証対象部分・保証期間〉

- 保証対象部分：機器本体(リモコン含む)〈乾電池は対象外〉
- 保証期間：お買い上げ日より2年間。但し、下記部品については別途以下の年数を保証いたします。  
熱交換器…3年間(漏水は5年間)、機器本体内の電装基板…5年間

## 〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
  - 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
  - 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
  - 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
  - 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
  - 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
  - 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
  - 機器に表示してある以外の使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
  - 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
  - 本書のご提示がない場合。
  - 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

保証責任者 株式会社ノーリツ 神戸市中央区江戸町 93 番地

### ■お客さまへ

- この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理につきましては、取扱説明書の「アフターサービス」の項をご覧ください。
- この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についての  
お問い合わせは・・・

株式会社ノーリツ  
コンタクトセンター

通話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは・・・ 0570-064-910 (通話料がかかります)

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって番号をお選びください。

### ① 修理の受付・故障に関するお問い合わせ

#### ■修理受付センター

365日24時間 修理受付  
※修理訪問は日中、地域により休日有り  
FAX 078-928-4831

### ② 有償点検・所有者情報に関するお問い合わせ

#### ■点検センター

【受付時間】※土日祝日、夏期休暇、年末年始を除く  
〈平日〉 9:00~17:30

### ③ 商品に関するお問い合わせ・その他

#### ■お客さま相談センター

【受付時間】※年末年始を除く  
〈平日〉 9:00~18:00  
〈土曜・日曜・祝日〉 9:00~17:00  
FAX 078-921-5656

### 個人情報の 取り扱いについて

■ご連絡いただいた個人情報はお問い合わせ対応に必要な範囲で使用し、当社規定により厳格に管理します。なお、個人を特定できない情報に加工し、ノーリツグループのサービス向上や製品開発等に利用させていただきます。 ■ご連絡いただいた個人情報に誤りがある場合、当社からご連絡できない場合があります。 ■ご連絡いただいた個人情報は、以下の場合を除き、第三者に開示・提供致しません。(1)修理や各種ご案内・お問い合わせ対応のために当社関係会社や販売店等へ連絡する場合(2)機密保持契約を締結した外部業者に業務を委託する場合(3)法令等にもとづく場合 ■お客さまご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止等に関しては、弊社総務部 個人情報担当(TEL 078-391-3361 受付時間/平日9:00~17:00)にご連絡願います。